

<ホッキョクグマと三角コーン>

※ この物語はフィクションです。

<この物語のあらすじ>

ロシアで生まれたホッキョクグマのピートは、生後7ヶ月で遠い異国の地、日本にもらわれていくことになりました。そこで新しくピートを世話することになった飼育員の幸川さんと出会います。本当の子供のようにピートの世話をする幸川さん、そんな幸川さんの真心を理解しているかのように幸川さんを慕うピート。充実した毎日が足早に過ぎていきましたが、ある日突然、思いもよらない惨事が起きます。動物園での生活の様子や、突然訪れた悲劇を通じ、動物と人間との繊細な心の交流を伝えます。

<この物語を作った経緯>

2008年10月のある日、静岡市の実家で暮らす兄から短いメールが送られてきました。一言「ここを見て」と書かれていて、URLが一つ貼り付けられていました。早速開いてみると、檻のような部屋に白いクマが寝ている写真でした。しばらく見ていると時々そのクマが動くことがわかりました。これが、初めてみた静岡市立日本平動物園様がインターネット配信しているホッキョクグマのライブ映像でした。映っているのは2008年の夏にロシアから来たホッキョクグマの子供のロッキーでした。そのしぐさがあまりにも可愛いこと、ロッキーが飼育員さんに良く甘えていること(明らかに感情表現ができること)、そして動物の様子がつぶさに観察できるシステムの素晴らしさ等にすっかり感激してしまいました。

それからというもの、自宅にいる時はほとんどライブ映像をつけっぱなしにして、ロッキーの様子を観察するようになりました。毎日毎日、ライブ映像を見ていると、「今、ロッキーは何を考えているのかな?」「眠いのかな?」「さびしいのかな?」といろいろな想像をするようになり、ロッキーの気持ちになって、自然に独り言を言ったりするようになりました。それ以来、連休を利用して日本平動物園に行き、何回か本物のロッキーを見ることができましたが、普段はもっぱらライブ映像を見ていました。毎日のようにライブ映像を見ていたら、段々ロッキーの物語を書いてみたくなってきました。それがこの物語を書くことになったきっかけです。

2009年の春、社団法人 日本動物保護管理協会様(平成22年4月1日に(社)日本獣医師会へ吸収合併)が主催されました「第21回 日本動物児童文学賞」にこの物語を応募したところ、奨励賞を受賞することができました。今まで賞には縁のなかった自分にとって、信じられないような出来事でした。

作品はフィクションですので、登場する人物や動物の名前、または地名などは架空のものを設定しましたが、実際は実在する静岡市立日本平動物園のロッキーと飼育員さんをモデルにして書きました。内容についての主な情報源は、日本平動物園様が提供するインターネットのライブ映像と、数回だけ見た本物のロッキーですので、本文は観察して感じたことに自分の想像が加わって書かれている部分が多いです。

動物にも豊かな感情があること、それを体全身で表現できること、それを深く理解できる人間がいること、また動物と人間との心のふれあいなどを、今まであまり動物園には関心のなかった方など含め、少しでも多くの方に興味を持って読んでいただければこんなに嬉しいことはありません。

執筆にあたり、ロッキーと飼育員さんをモデルにした物語を創作することをご承諾いただきました、静岡市立日本平動物園様に厚く御礼申し上げます。

挿絵を描くにあたっては、多大なるご協力をいただきました、「うに」様(ハンドルネーム)並びに、「しろくま園」様(サイト名)に心より感謝の意を表します。「うに」様は動物の写真を多数撮影してご自身のブログに掲載されておられます。「動物園始めました。」というタイトルの写真中心のブログで、実に素晴らしい作品の数々が満載されています。日本平動物園のロッキーに関しても、140回近く(2010年10月現在)にわたり、多数の魅力的な作品が掲載されています。URL: <http://unizoo.exblog.jp/> (右側のメニューに「ロッキー」というタグがありますが、そこをクリックするとロッキーの写真を見ることができます。)

また、「しろくま園」様のサイトは日本全国を網羅した(一部海外も)のホッキョクグマの情報を、素敵なお写真と共に詳しくご紹介されておられ、大変わかりやすくデータベース化されておられます。ホッキョクグマ

がお好きな方には必見のサイトです。URL: <http://shirokumaen.com/index.html>

御両者にはこの物語の挿絵を描くあたり、19枚のうち18枚は「うに」様、30ページの絵に関しましては「しろくま園」様の撮影されたロッキーの写真を元にイラストを描くことをご承諾いただきました。

挿絵の画材に関しましては、原画はB4サイズの中目、厚口の画用紙に描いています。すべて色鉛筆で描いております。赤と青と黄色の3本だけ使用して、重ね塗りをして可能な限りの色を出したつもりです。

また、この作品の電子書籍出版の実現におきましては、合同会社シーサイドソフト様のお力を借りずしては語れません。合同会社シーサイドソフト様は、ソフトウェアの開発・販売をなさっている会社です。(<http://www.seasidesoft.net/index.html>) 本電子書籍はシーサイドソフト様が無料で配布しておられる電子書籍出版ソフト『メディアブックパブリッシャー』を利用して作成しました。おかげ様で素人の私でもこんなにクオリティの高い電子書籍を作成することができました。操作でわからないことがあるたびに何度もシーサイドソフト様に問い合わせをさせていただきましたが、その都度、大変親切丁寧なご対応をして下さいました。シーサイドソフト様の高い技術力と丁寧なご対応に深く感謝の意を表します。

芦沢 美樹

2010年 10月

[著者略歴]

1964年 静岡県静岡市に生まれる
1986年 日本大学経済学部卒業
1986年 アパレルメーカーに入社
2002年 臨床検査会社に入社
2009年7月 「第21回 日本動物児童文学賞」奨励賞受賞

書名:『ホッキョクグマと三角コーン』

著者名:芦沢 美樹/作・絵

製作日:2010年10月20日

発行者:芦沢 美樹

製作者:芦沢 美樹

email: info@sankakucone.com

Copyright(C)2010 Miki Ashizawa All rights reserved